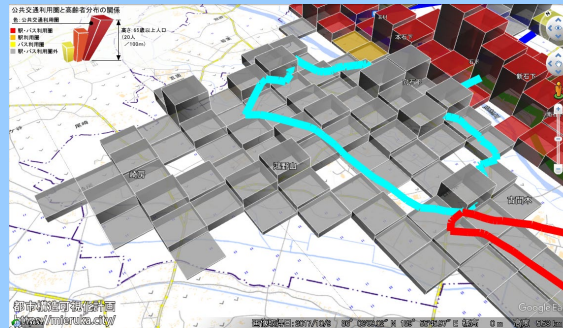


コミュニティバス計画を 可視化する

～情報システム部門が可視化サイトを活用～



茨城県 常総市 デジタル推進課

1. 令和5年度時点の公共交通状況

鉄道及び市東部地区のバスのみ / 市西部地区は空白地帯

◆ 鉄道

- ・ 南北を関東鉄道常総線が走行
- ・ 東西方向の鉄道はなし

◆ バス

- ・ 石下駅/水海道駅発の東方面へのバス
- ・ 守谷駅発の内守谷・菅生地区を通過するバス
- ・ 南北方向は石下駅～三妻地区（通学時間のみ）

表 2-8 公共交通の運行状況

交通モード等	運行内容	運行主体	運賃等
鉄道	常総線	関東鉄道株式会社	距離制
路線バス	・水海道駅～土浦駅西口 ・岩井BT～きぬの里～守谷駅西口	関東鉄道株式会社	距離制
	・石下駅～つくばセンター・土浦駅 ・石下駅～鬼怒中前 ・石下駅～下妻駅(※) (※冬休み期間の平日運行)	関鉄パープルバス株式会社	距離制
乗合タクシー (デマンド交通)	予約型乗合交通「ふれあい号」 (市内全域)	常総市	一律運賃 (250円)

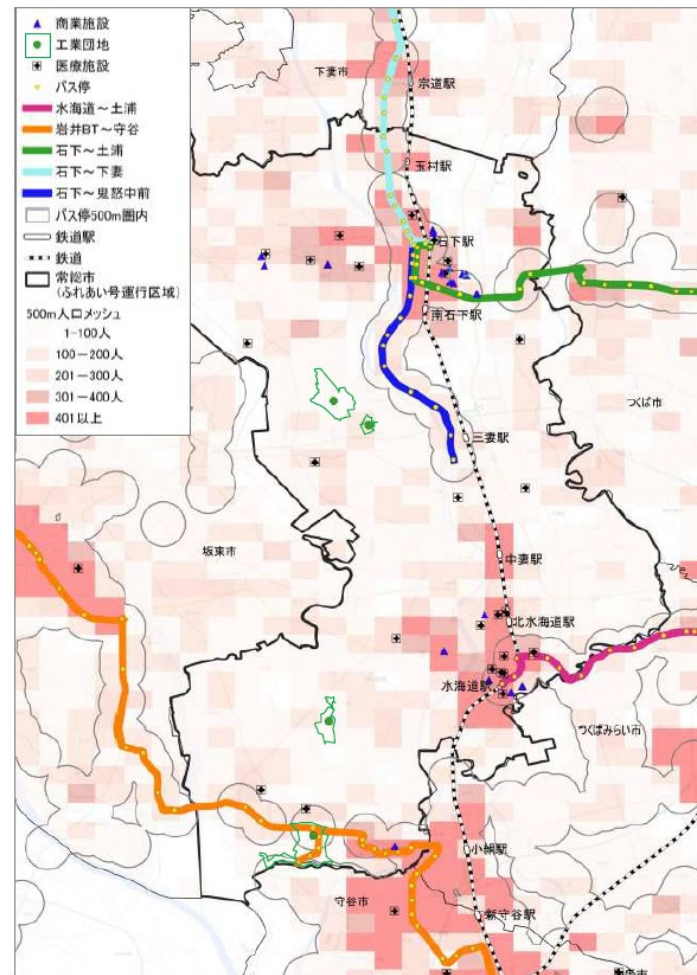


図 2-12 人口メッシュと公共交通の運行状況

2.コミュニティバス計画

令和6年度から運行を開始（予定）

◆ コミュニティバス運行を計画

- ・ R6年度から運行を予定
- ・ 市内を計8系統に分けて運行

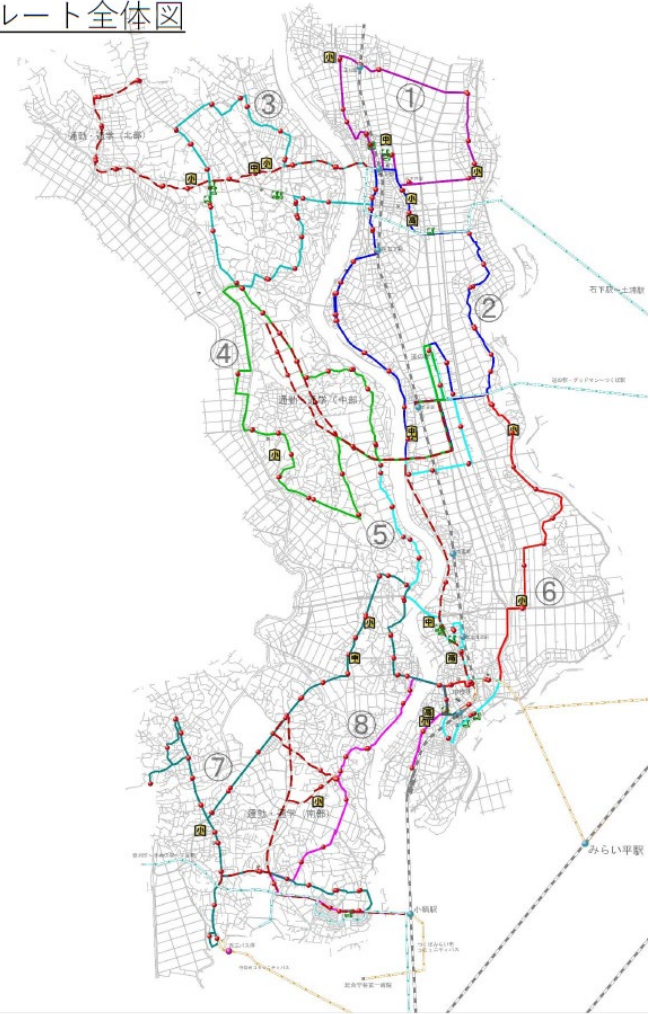
◆ 居住地から拠点への移動支援

- ・ 市内の各地域（居住地）から拠点への地域内移動を支える目的で運行

◆ 市内GISのレイヤが存在

- ・ 市内で利用しているGISに
コミュニティバス運行ルート
のレイヤあり
- ・ レイヤのShapeデータ
エクスポートは可能

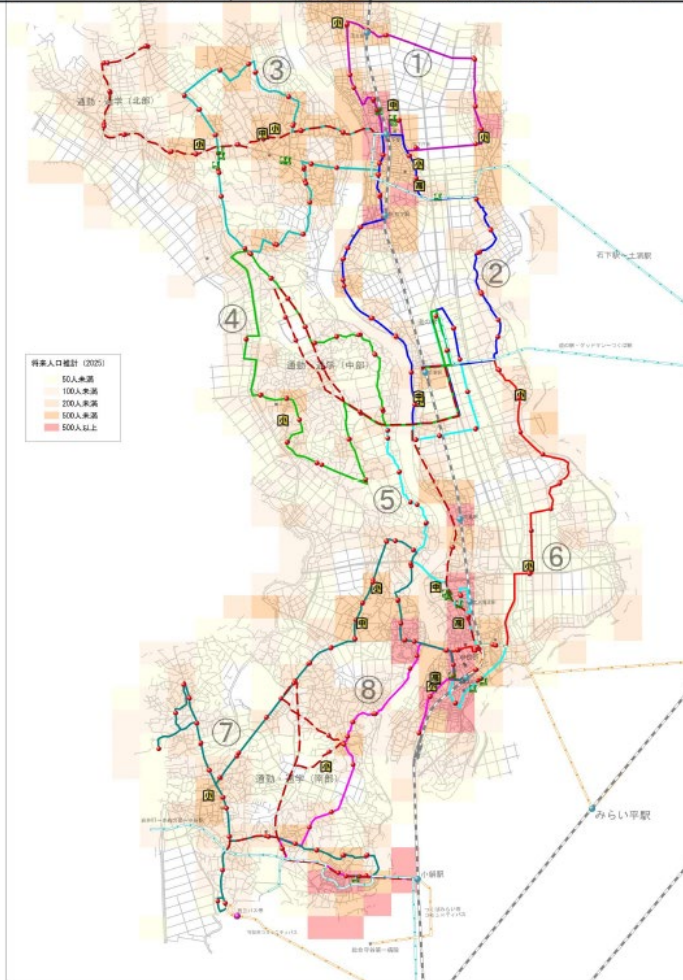
ルート全体図



3.運行ルートと課題

現状全世代人口との比較はあるが高齢者人口との比較はない

● ルート全体図（2025将来人口推計500mメッシュ）



◆ 人口メッシュとの比較図はある

- ・ 2025年人口推計とルートの比較
- ・ 居住人口が多い地区を網羅するルート

◆ 高齢者等交通弱者の視点

- ・ 比較図では全世代の居住人口と比較
- ・ 交通弱者となりやすい高齢者居住地域との比較はされていない

◆ 高齢者居住状況との比較

- ・ 高齢者居住分布とバス運行ルート案を比較することにより交通弱者視点でのルート改善案が可視化される

4.高齢者人口分布と利用公共交通レイヤ

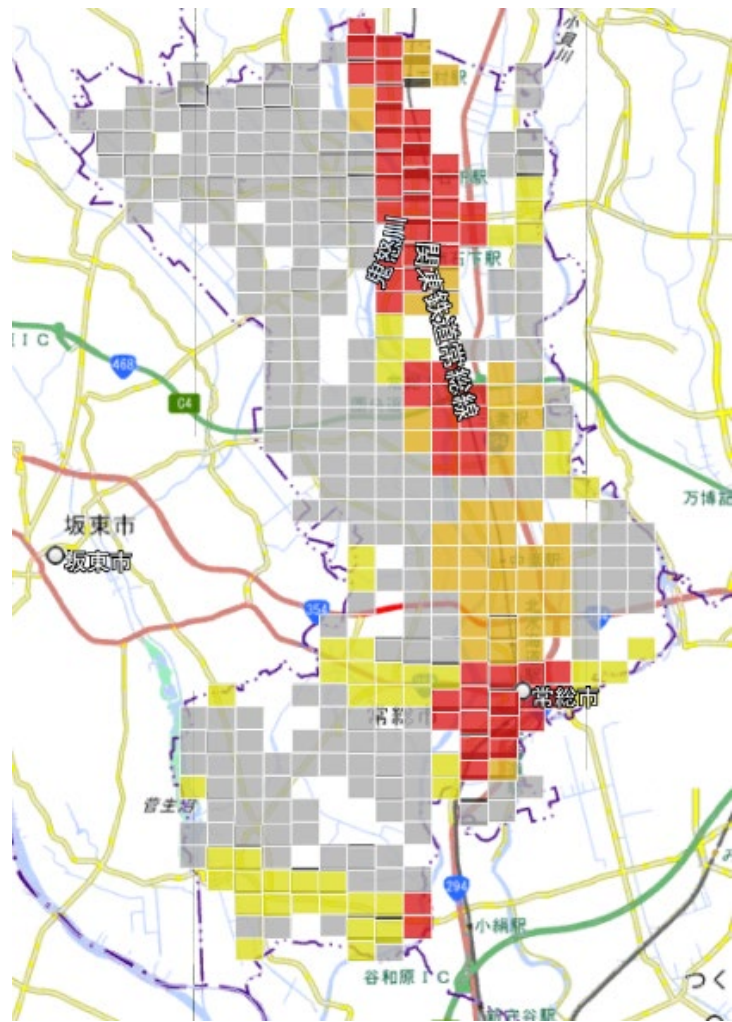
可視化サイトの公共交通利用圏・高齢者人口分布を活用

◆ 可視化サイトからインポート

- ・ 公共交通利用圏と高齢者分布の関係レイヤ
- ・ 灰色が公共交通が無く高齢者がいる地域

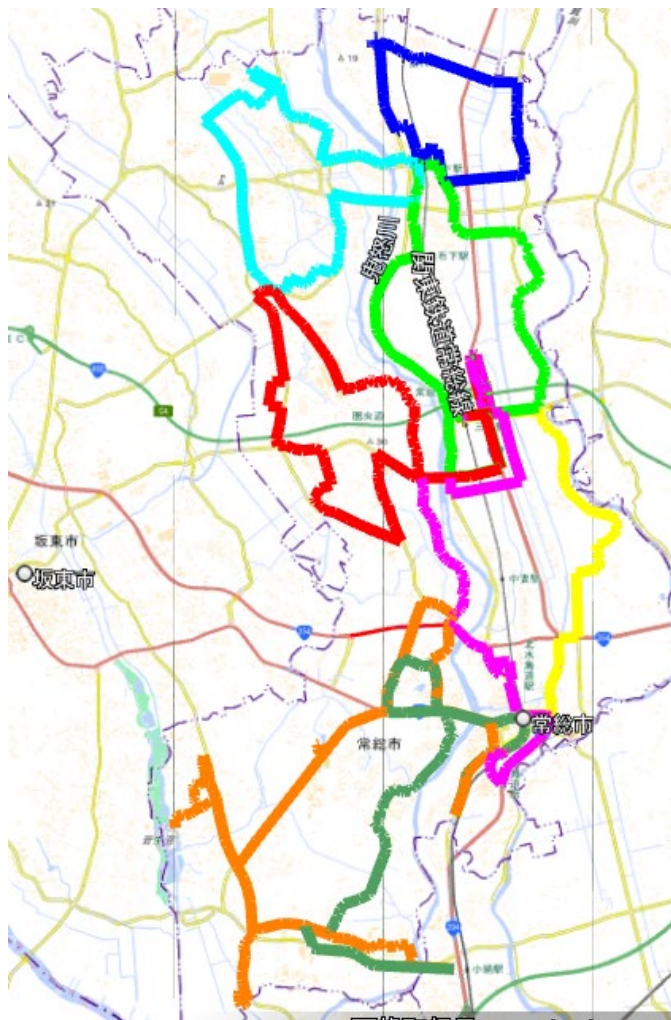
◆ 高さで居住人口が表現される

- ・ 各メッシュの高さが高齢者居住人口
- ・ 灰色かつ高さがあるメッシュは、公共交通弱者の高齢者がいる可能性有



5.コミュニティバス運行予定ルートレイヤを作成

庁内で利用しているGISレイヤからKMLファイルを作成



◆ ルートレイヤをエクスポート

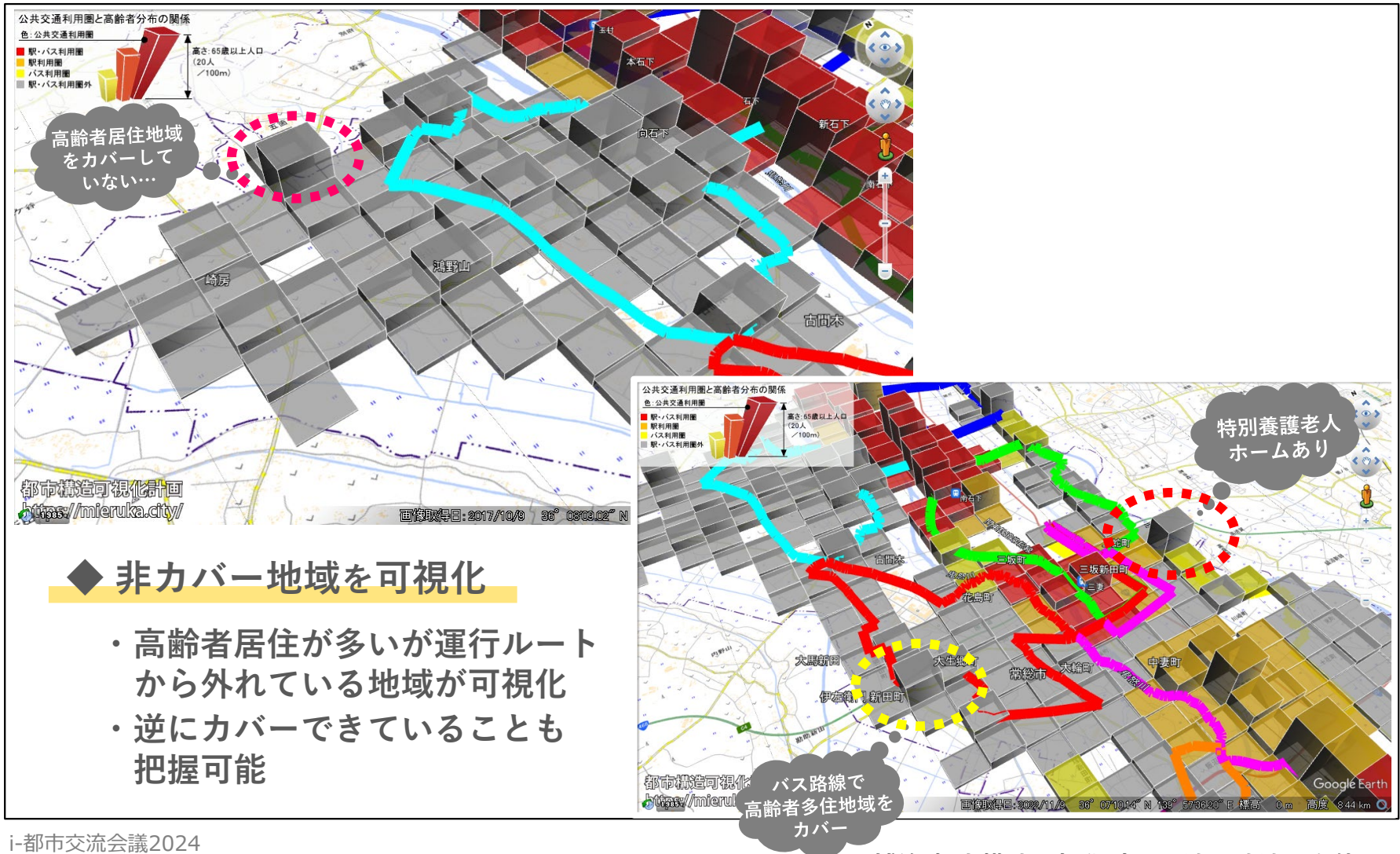
- ・ 庁内GISで利用しているバス運行ルートレイヤをエクスポート
- ・ Google Earthで活用可能な形に編集

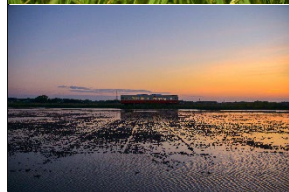
◆ MANDARAを利用しKML作成

- ・ 各ルートの色分け
- ・ 表示ルートは高齢者をターゲットとするため日中運行予定のルートのみ

6.可視化による効果

バス運行ルート外で高齢者が多い地域を可視化できる





◆ 茨城県の南西部に位置

- ・ 都心から約55kmほどの距離
- ・ 南北20km, 東西10kmの広がり
- ・ 標高は5m~24mほどで平坦な地形

◆ 農業の街じょうそう

- ・ 市東部では稲作, 西部では畑作
- ・ 四季を通じて首都圏方面へ出荷
- ・ 圏央道常総ICを中心に食と農の産業団地「常総アグリサイエンスバレー」を整備。

◆ 千姫ゆかりの地と花火大会

- ・ 徳川家千姫ゆかりの地
- ・ 毎年春に千姫まつりを開催
- ・ 夏は常総きぬ川花火大会を開催
- ・ 全国から花火好きが集まる

人口：61,258人

面積：123.6 km²



なんか、いいかも。
常総市

